

〰〰〰〰 編集後記 〰〰〰〰

今回の『京浜歴科年報』には、論文二本と研究ノート一本を掲載いたしました。たいへんお忙しい中で論文・書評を執筆・寄稿して下さいました皆様には、厚く御礼を申し上げます。

お陰様で、『京浜歴科年報』も一つの区切りともいえる第一五号を刊行することが出来ました。今後も年報の刊行のためにも会の活動を充実させていく所存でありますし、あわせて読者諸氏の忌憚のない御批判を乞う次第であります。

(松田隆行)

『京浜歴科年報』第一四号

(二〇〇〇年一月三〇日発行)

〈論 文〉

学徒勤労働員と教員

石井 喬

関東大震災直後の軍隊と警察

—戒厳令施行に関する一考察—

植山 淳

大久保利通の国制改革構想

—明治六年一〇月政変直後における—

奥田晴樹

〈書 評〉

山本英二『慶安御触書成立試論』

伊東富昭

京 浜 歴 科 研 年 報 第 一 五 号

発行日 二〇〇一年一月二八日

編集・発行

京浜歴史科学研究会

〒二三三―〇〇〇六

横浜市港南区芹が谷五―五九―一二 大湖賢一方

電話 〇四五―八二五―三三三六

郵便振替口座 〇〇二七〇―八―二五五三五

印刷

合資会社 横 浜 大 気 堂

横浜市中区真砂町四―四〇